
著者からのメッセージ

皆さんは英語は得意ですか？ 英語はあまり得意じゃない、という理科系の学生は少なくありません。ところが、実は、理科系でも研究室に入ると、もれなく英語の論文を読むという輪講やゼミが待ち構えています。ひょっとすると、「ただでさえ英語が苦手なのに、難しい研究の話を英語で読むなんて…」と思うかもしれません。あるいは、「英語は得意だけど、物理の話を英語で読むのは敷居が高そうだ」と思う人もいるかもしれません。

この本は、そんな皆さんのために書きました。

いろいろな使い方ができるように、工夫しました。例えば、右のページの日本語のところだけを読むと、熱力学の本になっています。具体的な例を使って、なるべくわかりやすく説明しています。英語が苦手な人は、初めは右のページだけ読んでもよいでしょう。左のページには、右ページとまったく同じ内容が英語で書かれています。英語が苦手だな…と思っている人も、日本語で内容を理解できたのなら、きっと英語でも理解できると思います。

科学の世界で使われる英語は、実はそんなに難しくありません。なぜなら、科学の世界では論理を明確に伝える必要があるために、比喩や暗喩、難しい熟語などがあまり使われないからです。ごく簡単な文法だけで、科学の英語を読むことはできるのです。

ただし、普通の英語の教科書には出てこない、いわゆる科学用語やしきたりといったものは覚えてはいけません。英語のページには、私がかつて学生だったころに、間違ったことや疑問に思ったことを脚注で解説しました。単に英語のことだけではなく、物理の世界で用いられるしきたりについても書きました。

科学の世界の英語って、ちょっとした専門用語を覚えたたらそんなに難しくないんだ！ と皆さんが出でをもつことで、新しい世界がひらけますように。

2015年7月

戸坂亜希